

5億6000万年～5億2000万年前のカンブリア爆発によって、“心”は生まれたとされています。ラスコー洞窟壁画（旧石器時代 約18000～14000年前）には、死にゆく男から心が鳥となって飛び去ろうとしている壁画が見てとれ、すでに心身二元論の思考が伺えます。



脳の話：脳は基本的には3層構造となっており、大脳（人間らしく生きる）、間脳（逞しく生きる）、脳幹（生きる一生命維持機構）でそれぞれの役割を分担しています。大脳は知情意、間脳は喜怒哀楽の中枢とされています。その中で“思考”は環境と行動を結ぶインターフェイスとされており、社会の中で生き抜くための重要なキーワードです。この思考を可能にしているのが、脳がデジタルとアナログの複合型コンピューターの構造で、人工的にも未だ作れない優れもののためです。コンピューターは電気現象に基盤を置いています。脳にはこの電流に加え、化学的な神経伝達物質の流れによって精神が彩られています。

心の話：脳は目に見えるものですが、心は見えません。心は何処にあるのでしょうか。脳は思考を駆逐して外界との関係を模索しますが、心にはインターフェイスはありません。心の状態はシナプスから放出される神経物質の性質と量によって決まるとされています。

脳と心の話：20世紀最高の脳神経外科医ペンフィールドは、脳に心を求めて、脳神経外科医になったと言っています。膨大な研究によって、脳神経科学に携わる関係者のバイブルとされる、“ペンフィールドマップ”を世に送り出し、大脳局在論を確立させています。彼がリタイアの時に述べた言葉は、衝撃的なものでした。“脳に心は存在しない。脳はコンピューター、心はプログラマー。”と脳の中に心を見出せなかった心情を述べています。

脳と心が分離された今、我々はこの両者に対し、どう対応し、どう向き合っていくのか。脳の時代と心の時代の棲み分けの話などをさせていただきます。



11月号 私のイチ押し！ 内田修友会員

11月はロータリー財団月間となっています。ロータリー財団は分かりにくいと言われています。

今回ロータリー財団について詳しく分かりやすく記載されています。

まずロータリー財団の父と言われているアーチ・クランプについて記載されています。財団だけでなくロータリーを地区に分割してガバナーの役職を創設するなどロータリーの発展に貢献したとのこと。又寄付はどれだけ集まり何に使われたか分かりやすく記載されています。

是非ご一読ください。



●出席率 80%を目指しましょう！

第 3116 回例会 出席報告		
会員数	出席数	出席率
33(32)名	20 名	62.5%

●今後の予定

12/4(水)	年次総会
12/11(水)	会員卓話 内田修友会員
12/18(水)	クリスマス家族会

市内ロータリークラブのプログラム 記帳メークアップ★11:30～12:30 ☆17:30～18:30

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	11/28(木)	夜間例会	ホテルサンディーズ 鹿児島	令和	12/2(月)	例会なし	ホテルサンディーズ 鹿児島
北		会員卓話 入来会員18:30～	アートホテル	東南	12/3(火)	クラブ総会	サンロイヤル
サザン		例会なし	ホテルレクストン 鹿児島	城西		年次総会	ホテルサンディーズ 鹿児島
鹿児島	11/29(金)	青少年功績賞贈呈式	山形屋	西	12/4(水)	クラブフォーラム	山形屋
アカデミー		例会なし	鹿児島大学	西南		クラブフォーラム	ビエント
中央	12/2(月)	職業奉仕フォーラム	山形屋				